



リフォーム後



リフォーム前

↑築18年。9年前にLDKをリフォームしたが、トイレは壁と床を替えただけだった。壁は珪藻土にしたが、水回りなので下の方がどうしても汚れやすい。配管を隠すためか、水タンクと奥の窓の間に20cmほど壁が張り出し、トイレが狭い。予備のトイレトーパーや掃除道具の収納スペースもない。



と同じ有機ガラス系新素材で、水垢が付きにくい。手洗いの収納もパナソニック製。扉がミラーになっていて、圧迫感が少ない。カウンターはタモの無垢集成材を、木肌を生かしてオイル仕上げに。壁の下部は水や汚れに強いキッチンボードに張り替えた。

↑水タンクと、背後の壁の張り出しがなく、奥行き1660mmと標準的空間を確保。「アラウーノ」のトップカバーは紅殻色。→ゆとりのできた空間に、トイレには大きめの手洗いを設置（パナソニック/ベッセルボール4万2000円）。「アラウーノ」

建物種別 戸建て/築18年  
 改修箇所 トイレ (0.38坪)  
 施工内容 トイレ交換/壁撤去/手洗い、配管、カウンター、収納新設/床、壁張り替え/窓枠修繕ほか  
 施工総額 65万3400円 (消費税込み)  
 施工期間 3日  
 施工会社 株式会社エー・ディー・アンド・シー  
 東京都世田谷区北烏山9-2-4  
 ☎03-5315-3519  
 http://www.adandc.jp

たない空間だが、提案も金額も3社3様で、比較するのが楽しい。この中から1社に絞り、担当者として細部を詰めたのち、いよいよ施工となる。決め手は天然素材とシンプルデザイン。他の2社には申し訳ないが、お断りの連絡はコンシェルジュから入れてもらった。床下に配管を通すなどしたため、工事は3日かかりとなったが、水タンクと後ろの壁がなくなり、すっきりした空間に、大きめの洗面ボウルと収納が設置できた。左右いっぱいには設えた無垢材のカウンターが、広さを強調してくれる。リフォームで大切なのは、どこをどう変えるか、という以前に、誰に頼むか—そのことを、身をもって経験した次第である。

Panasonic  
Homes & Living

リフォームご相談カウンター



↑「パナソニック リビング ショールーム 東京」のリフォームご相談カウンターを訪ねる。コンシェルジュのいるショールームは全国8か所。電話・ウェブサイトでも受付。リフォーム相談窓口 ☎0120-146-870  
[http://sumai.panasonic.jp/sumai\\_create/](http://sumai.panasonic.jp/sumai_create/)



←ショールームにはパナソニックの住宅設備を多数展示。↓我が家の新しいトイレは、全自動おそうじトイレ「アラウーノ」発売10周年記念モデル(31万円)に決めた。トップカバーが10色から選べる(写真はミッドナイトブルー)。今年末までの限定受注品。



↑リフォーム会社は3社まで紹介してもらえ。各社は現場訪問ののち、プランと工事費用を提示。それをじっくり見比べて検討する。不明な点は社に直接問い合わせてもいいし、コンシェルジュを通してもいい。紹介から見積もりまで、料金はいっさいかからない。

東京郊外に戸建てを購入してはや18年。ピカピカだったトイレも、最近汚れが付きやすく、掃除を少しサボると黒ずみが目立つようになった。私は今年で52歳。今後、体力は落ちていくので、いま以上にこまめな掃除はできない。最近のトイレは汚れが付きにくいと聞く。な

改築をしたくても、信頼できるリフォーム会社が見つからなければ実行に移せない。そんなとき活用したいのが、パナソニックの「リフォームショップ紹介サービス」だ。

らばトイレをそっくり取り替えようと思うが、誰に頼んだらいいかわからず、数年来悩んでいた。解答は意外に単純だった。近くで用事があったついでに立ち寄った「パナソニックリビングショールーム 東京(汐留)」。住宅設備の展示が、3フロアにわたって豊富に展示され、見て触れて確かめられる空間だ。その一角にある「リフォームご相談カウンター」に座ると、コンシェルジュが丁寧に相談のつてくれた。

この窓口では「リフォームショップ紹介サービス」が無料で受けられる。カウンセリングのあと、ショップ紹介サービスに申し込むと、条件に合うリフォーム会社を紹介し、工事完了までこまやかに面倒を見てくれるのだ。施工後のアフターサービスも万全で、トイレのつまりなど緊急トラブルに24時間365日受付対応してくれる(※)。紹介サービスは、ウェブサイトや電話でも受けられる。数日後、リフォーム会社3社を紹介された。3社とも我が家のエリアに拠点をもち、強みはそれぞれ異なる。この3社に我が家のトイレを実際に見てもらい、改善したい点を伝え、プランと見積もり金額を出してもらった。1畳に満

体験企画

本誌編集長が築18年の自宅トイレを一新

ひとり悩むより、相談するのが近道。  
 住まい改善はリフォーム店との出会いから

